

差出人: BOC Storage News [storagenews@bocinfo.net]
送信日時: 2009年4月15日水曜日 19:37
宛先: BOC Storage News
件名: BOCストレージ・ニュースレター 4/15号 (2009年4月13日～4月15日)

■■■■ BOCストレージ・ニュースレター4/15号(毎週水、土曜日発行) ■■■■
2009年4月13日～4月15日の業界ニュース

-----ニューズトピック-----

2009年4月15日

- Lite-on IT と QSI、2009年1Qの業績は不調に終わる
- パナソニック、新しいDLNA Blu-rayプレーヤを50,000円で発売
- ドイツの監視委員会、Office 2007 の価格設定でMicrosoftにUS\$1,180万の罰金
- 台北春季コンピュータショー、多くの来場者を引き付ける
- CMC、太陽電池へ過大投資で業績悪化の懸念

2009年4月14日

- 台北春季コンピュータショー、各社大幅な値下げの様相
- CyberLink PowerDVD9 TrueTheater、SD画質のDVDをアップコンバート可能
- MediaTek、iPeerに投資
- CompalとAsus、3月は予想を上回る業績
- パイオニアとシャープ、光ディスク事業で合併会社を設立することで最終合意

2009年4月13日

- Acer、CULVプラットフォーム搭載のノートPCシリーズを他社に先駆け発表
- HannStar、ネットブック用ディスプレイボードで大口受注を獲得
- Micron、TMCへの不参加を決定
- Lite-On、利益率を改善
- ノートPC ODM主要4社の売上高比較

2009年4月15日

- Lite-on IT と QSI、2009年1Qの業績は不調に終わる

Lite-on IT と QSIは、世界的金融危機の影響を受け、2009年1Qの出荷は予想ほど伸びず、売上高は大幅に減少した。Lite-on ITの1Qの売上高は対前年同期比でマイナス35.73%、QSIは同マイナス9%となった。Lite-on ITの3月の売上高はNT\$35億(約105億円)となり、2月に比べプラス16.42%となったが、対前年同月比ではマイナス29.48%となった。同社の1Qの売上高はNT\$50.7億(約152.1億円)と対前年同期比でマイナス35.73%となった。一方、QSIの3月の売上高はNT\$20.22億(約60.66億円)となり、対前月比プラス28.14%、対前同月比プラス3.59%となった。しかし、同社の1Qの純売上高はNT\$49.92(約149.76億円)と対前年同期比でマイナス9%となった。両社は、世界的な金融危機がPCと関連製品の販売に大きな影響を与えたことを認めている。しかし、2009年1Qが底であり、ネットブック、超薄型ノートPC、新しいハイエンドBlu-rayプレーヤの需要は再び急増しているという。

2009年4月15日

- パナソニック、新しいDLNA Blu-rayプレーヤを50,000円で発売

パナソニックは、新しいBlu-rayプレーヤ“DMP-BD 60”を発表した。同機は、4月25日発売予定で、店頭予想価格は50,000円である。同社によると、DMP-BD 60は、Profile 2.0をサポートし、Dolby TrueHD用オンボードデコーディング、及びDTS-HD Master Audio Essentialが搭載されている。同機は、YouTube、Picas、天気予報、株価、5月から開始されるAmazon Video On Demand等のオンラインコンテンツのポータル機能であり、同社が特許を取得しているVieraCastが搭載されている。また、同機

は、1080/24p、1080/60pビデオ、及びAVCHDと互換性があり、X.V.カラーフォーマットにも対応している。オーディオ出力は、Dolby TrueHD、Dolby digital plus、DTS-HD Master Audio Bitstream及びPCMをサポートしている。しかし、同機は、アナログチャンネル出力は搭載されていない。HDMI機能に関し、パナソニックは、新しいVIERA Link機能を搭載し、インターフェイスにより、ユーザがより簡単に機器の操作ができる。インターネット機能に関しては、同機は、DLNA及びDTCP-IPをサポートし、acTVila及びYoutubeからメディアをダウンロードできる。また、同機は、SD/SDHCメモリスロットが搭載され、JPEG、MPEG-2、AVCGD、MP3、DivXファイルの保存ができる。

2009年4月15日

●ドイツの監視委員会、Office 2007 の価格設定でMicrosoftにUS\$1,180万の罰金

ドイツの独占禁止監視委員会が、Microsoftのドイツの子会社に対し、900万ユーロの罰金を課し、同社が、不法にOffice 2007ソフトウェアの小売価格に影響を及ぼしたと示唆した。Bundeskartellamt (ドイツの経済取締機関) は、Microsoftが、共同広告キャンペーンに着手する前に、同社のOffice Home及びStudent 2007ソフトウェアパッケージの価格を、設定していた。Microsoftは、ドイツの監視委員会に対し、“当社は、本件を、内部の商業プロセスの見直しの機会とし、ドイツ法に順守することを確約する”と、声明を発表した。

2009年4月15日

●台北春季コンピュータショー、多くの来場者を引き付ける

台北春季コンピュータショーの来場者が、日曜に9万人に達し、ピークを迎えた。しかし、現状の景気後退により、実際の購買は、予想を下回った。当初、多くの企業は、ネットブックに期待していたが、実際の需要は以前のショーほど高いものではなかった。前回のショーでは、ネットブックの販売は全ノートPC販売の40%を占めていた。ノートPCは、すべての主要ブランドにとっては、最もポピュラーな製品であり、Acer及びAsusは、台湾市場において、最大のブランドである。しかし、今年の台北春季コンピュータショーでは、両社の存在感は、むしろ小さいものである。Asusは、製品の価格を平均6%下げ、Acerは、新しいCULVラインにのみ焦点を合わせていた。他のブランドも、かなり成功をおさめていた。Lenovoは、最近の台湾のテレビCMでヒットした、IdeaPadシリーズの拡販を行っており、一方、U330 IdeaPadの購入者に、無料でS9ネットブックを提供している。Lenovoは、今年の販売は20%増加すると述べている。一方、MSIは、ultra-slimシリーズに焦点を合わせている。同社のNT\$30,000(89,071円)以下のultra-slim X430は、AppleのMacBook Airと同ぐらい薄く、イベントで脚光を浴びていた。

2009年4月15日

●CMC、太陽電池へ過大投資で業績悪化の懸念

以前のニュースで、CMCは財務状況の悪化が改善してきており、今後はBlu-rayディスクに期待しているとのニュースを掲載した。しかし、近年CMCは、太陽電池事業へ多大な投資を行っており、グローバル経済な経済不況で、太陽電池の収益性が悪化しており、現在、業績の足を引っ張っている模様である。CMCの売上高は、2008年11月がNT\$20億1,100万(約63億3,000万円)をピークに、2008年12月がNT\$18億3,000万(約54億8,400万円)、2009年1月がNT\$14億4,000万(約43億2,000万円)と落ち込んだが、2009年2月にはNT\$11億8,000万(約35億4,000万円)と減少が続いていた。しかし、3月はNT\$16億4,000万(約49億2,000万円)と回復傾向にある。CMCは、利益では赤字状態が続いている。噂では、CMCは太陽電池事業への投資名目で集めた資金を、光ディスクなどの事業損失を穴埋めに流用しているという。

2009年4月14日

●台北春季コンピュータショー、各社大幅な値下げの様相

台北春季コンピュータショー(Taipei Spring Computer Festival)が開幕したが、各社から大幅な値下げが提示されている模様である。東芝と富士通は、NT\$5,000(15,000円)以上の値下げを提示している。一方、AcerはLenovoのX200sに対抗し、新しいCULVモデルを発表した。今年の台北春季コンピュータショーには、約120社が参加し、700以上のブースが開設されている。ネットブックは今年のヒット商品になっており、通信サービスプロバイダがセット契約で無料のネットブックを提供することで競争を激化させている。Acerは、新しいCULVモデルの発表にあたり、北京、ニューヨーク、アムステルダムで大規模なプレスカンファレンスを開催した。今年の台北春季コンピュータショーに合わせて、Acerは新たに14インチと15インチのCULVコンシューマノートPCを用意し、それらはLenovoのCULV X200sにとって手ごわい競争相手になると予想される。一方、Asusは10インチのEee PCに照準を合わせ、新しいEee PC1000HEによって、Acerの10インチAspire Oneを打倒できると期待している。

2009年4月14日

●CyberLink PowerDVD9 TrueTheater、SD画質のDVDをアップコンバート可能

CyberLinkのPowerDVD 9の新技术である、TrueTheaterは、標準解像度のDVDを1080p画質まで拡張できる。同機能には、コンテンツの画質をアップコンバートできる‘TrueTheater HD’、フレームレートを24 fpsから60-72 fpsまでアップコンバートできる‘TrueTheater Motion’、画像の詳細を向上させる‘TrueTheater Lighting’が含まれる。さらに、‘TrueTheater Stretch’により、元画像のフォーマットに関係なく、16:9フォーマットで再生でき、‘TrueTheater Surround’技術により、通常のステレオスピーカーやヘッドフォンで、サラウンド品質ができる。CyberLink PowerDVD 9の価格は、\$49.95であり、新しいTrueTheater技術がバンドルされる。

2009年4月14日

●MediaTek、iPeerに投資

MediaTekは、主要音源IC企業であるC-Mediaと戦略的提携を結んだことを確認し、同社は、オンライン音楽産業への参入と、中国における携帯電話用チップ市場のシェアの強化を図る。まさに、MediaTekは、Appleのように、事業の統合を開始し、ハードウェアとソフトウェアの両方に携わることを計画している。同社は、C-Mediaの子会社であるiPeerに投資を計画しており、この投資は、iPeerにとっては、大いなる援助となる。MediaTekは、iPeerを競合他社の、中国の携帯電話音楽事業への参入阻止のために活用する計画である。現在、C-Mediaは、iPeerの20%の株式を保有し、HIMミュージックとAsusの両社が、およそNT\$3,000億(8,920億9,100万円)の投資を行っている。MediaTekは、過去に、C-Mediaと協業したことはないが、現在、提案された投資に対して、詳細を評価していることを、認めている。同社は、補足的にiPeerを投資目標として選択したが、この投資は、同社の携帯電話プラットフォームに、追加的な資産をもたらす。

2009年4月14日

●CompalとAsus、3月は予想を上回る業績

主要エレクトロニクス企業の3月業績は良好であり、Compal及びAsus両社も、予想を上回った。Compalは、3月に250万台を出荷し、第1四半期の総出荷台数は630万台になった。一方、Asusの3月の売上は、NT\$186億(553億2,000万)となり、第1四半期の同社の目標であったNT\$470億(1,397億8,800万円)を超えた。Compalは、受注獲得に積極的に動き、1月と2月に380万台を出荷した。同社の3月の売上は、2月より14%増加し、NT\$444億5,000万(1,321億9,371万円)であった。同社の2008年第4四半期の業績は、良好ではなく、第1四半期(NT\$1,114億9,000万 3,316億3,170万円)は、前年同期より2%減であった。証券会社筋は、Asusの業績に関して、楽観視していないが、同社は、第1四半期に、在庫の整理を行い、3月の売上はNT\$186億(553億2,000万円)であった。従って、同社の第1四半期の売上は、同社の目標を超える、NT\$470億(1,397億8,800万円)になる。同社は、80万台のノートPC及び450万-500万台のマザーボードを含む、目標達成が可能であると、自信を見せている。しかし、同社はEee PCの第1四半期の出荷が100万台になることを期待していたが、実際の出荷は80万台に留まった模様である。

2009年4月14日

●パイオニアとシャープ、光ディスク事業で合併会社を設立することで最終合意

パイオニアとシャープは、光ディスク事業で合併会社を設立することで基本合意したと発表した。この合併会社構想は、パイオニアが今年2月の2009年3月期第3四半期の決算発表の際に明らかにしていた。合併に関する具体的な詳細は、6月25日までに決定、締結される予定である。両社はお互いに、光ディスク関連事業を新会社に移管し、10月1日をターゲットに事業を開始する計画である。新会社では、光ディスクドライブ(ODD)やプレーヤー/レコーダなどを中心に、開発、設計、製造、販売を行なう。光ピックアップやODD、システム設計などの技術力を統合し、光ディスク事業を一層強化する意向で、協力関係を通じて両社AVブランド事業における市場競争力をさらに強化することを目的としている。新会社では、両社が保有する光ディスクに関する技術力を統合し、特に成長が期待されているBlu-ray市場で主導的ポジションの獲得を目指す。

Pioneer: <http://pioneer.jp/press/2009/pdf/0409-1.pdf>

Sharp: <http://www.sharp.co.jp/corporate/news/090409-a.html>

2009年4月13日

●Acer、CULVプラットフォーム搭載のノートPCシリーズを他社に先駆け発表

Acerは、HPとDellに対しリードする形で、Intelの新しいCULV(Consumer Ultra Low Voltage)プラットフォームを搭載したノートPCシリーズをアジア、北米、欧州市場で発表した。Acerの王社長は、CULVノートPCの発表は同社にとって大きなブレイクス

ルーであり、CULVノートPCが市場で主流になると予測している、と指摘した。Acerは、CULVノートPCが今後2年間でノートPC市場の50%を占めると予測しており、同社がCULVノートPCによってノートPC部門のシェアを増加できると期待している。Acerは、これまで遅れをとっていた米国、中国、日本で特に成長すると期待している。HP、Dell、Acerは、2008年4QにおいてPC全体で10%以上のシェアを持つブランドであるが、Acerのみが出荷において二桁以上の伸びを維持し、同社のマーケットシェアはDellに僅か1%及ばず、現在2位となっている。Acerは昨日、2008年のPC出荷台数を発表し、それによれば、デスクトップPCが800万台、ノートPCが2,000万台、ネットブックが500万台であった。ノートPC部門が同社の出荷全体の70%以上を占めている。Acerは現在、ネットブック(11インチ未満)とCULVノートPC(13-15インチ)部門でリードしており、出荷において競合を上回る成長率となる見通しである。また、王社長は、デスクトップPCの出荷が2Qには5-10%減少する見通しであるが、ノートPC(ネットブックを含む)の出荷は30%以上成長すると予想され、従って、出荷全体では25-30%増加する見通しであると指摘した。CULVノートPCの増加に伴い、Acerは競合が追いつくまで今後6~9カ月間はリードを維持できると見ている。Acerは、ネットブックの出荷は世界全体で3,000-3,500万台まで成長すると予測しており、同社の出荷は1,200-1,500万台に達する見通しであるという。

2009年4月13日

●HannStar、ネットブック用ディスプレイボードで大口受注を獲得

HannStarとSinTekが共同で開発したタッチスクリーンディスプレイは、6月に出荷の準備が進められている。そして、両社は、中国のホワイトブランド・ネットブック業界でビジネスチャンスを獲得することを切望している。HannStarは、5月まではフル操業を続け、同社のミドルサイズと10.1インチネットブック用ディスプレイ事業は良好である。SinTekは同社の主要株主であるHannStarと緊密に協業してきた。そして、両社は、中国の数社のホワイトブランドメーカーと具体的なパートナーシップを確立した。両社は、6月から出荷をスタートし、およそ30万台のディスプレイボードを出荷することを期待している。

2009年4月13日

●Micron、TMCへの不参加を決定

台湾の経済省とTMCは、米国、日本及び台湾のDRAM産業が統合し、韓国企業と競合できることを願っている。しかし、Micronの台湾のパートナーであるInoteraが、MicronがTMCに対して、アライアンスに参加しない旨を伝えたことを確認したという。TMCは、いつものように低姿勢を保ち、コメントを断った。MicronのCEOであるSteve Appleton氏は、Micronは、業界の他の企業との協業に対して、それほど興味がなく、依然として、台湾政府との交渉を行っていると言った。同社は、Elpidaとの協業は適切ではなく、魅力的ではないと認めた。InoteraのMichael Sadler氏が、海外の報道機関に対し、Micron若しくはInoteraにとって、その様な平行的なプラットフォームでElpidaと協業することは難しいことであると遠慮なく述べ、同氏は、Micronは、Elpidaに技術が漏れる機会があるリスクを指摘した。報道機関は、Sadler氏の声明を、TMCが提案するアライアンスへの参加拒否であると解した。

2009年4月13日

●Lite-On、利益率を改善

世界的な経済危機にもかかわらず、Lite-On Technology(Lite-On ITの親会社)の2008年第4四半期の利益率は、過去最高の7.6%であった。同社の、3月の売上は継続的に増加し、NT\$73億6,000万(218億3,097万円)と21%増加であった。同社は、本年、ノートPC用LEDの30-35%の市場シェアを獲得できると自信を見せている。Lite-Onの全世界における2008年4Qの売上高はNT\$253億(750億4,600万円)であり、純利益はNT\$44億2,000万(131億1,032万円)、1株当たり利益は、NT\$2.01(5.96円)である。3月の売上増は、インプットデバイスの売上が43%増加したことによるものであり、今年のキーボードの売上は、さらに増加すると予想される。また、同社は、ネットブックとIntelの新しいCULVプラットフォームが、市場を活性化させると自信を示している。

2009年4月13日

●ノートPC ODM主要4社の売上高比較

多くのノートPCブランドが在庫の補充を行っている影響で、Wistornの3月の売上高は対前月比で40.3%増加しNT\$460億4,900万(1,365億9,234万円)まで急増した。Quantaの3月の売上は27.9%増加しNT\$600億(1,779億7,400万円)を超えるまで回復した。Merrill Lynchは、ノートPC ODM主要5社の第1四半期の月間平均出荷増加率は20%になり、第2四半期の増加率は12%になると予想している。Compalを除いて、他のノートPC ODM主要4社は、月間売上高が少なくとも10%増加すると発表している。Quantaの昨年12月の売上は、世界経済危機により、NT\$600億(1,779億7,400万円)を下回り、1月及び2月の売上高はNT\$500億(1,483億1,100万円)を超えることがなかった。同社の3月の売上高はNT\$633億7,900万(1,879億9,933万円)であり、ほぼ30%増加したが、2008年3月より16.5%減少した。同社は、3月に2,700万台のノートPCを出荷し、第1四半期の出荷総台数

は6,900万台になった。この結果は、2008年第4四半期の出荷より30%減少するという同社の予想に沿ったものである。証券会社筋は、同社の4月の出荷も3月同様となり、5月にはHP及びAcerの新モデルが発売されさらに増加すると予想している。Wistronの3月の売上高は対前年比31.3%増のNT\$460億4,900万(1,365億9,234万円)であった。突然の売上増は、LenovoとAcerからの突然の発注増が原因である。同社は、3月にノートPCを220万台出荷し、アナリストらは、4月の出荷は3月と同レベルか、若干の減少になると予想している。

発行元:BOC(HOLDINGS)LTD

本社住所:UnitC,16/F,ChinawealCentre,414-424 Jaffe Road,Causeway Bay,HK

東京連絡先:東京都千代田区神田佐久間町3-9田中ビル 7F 101-0025

TEL 03-6806-6210/ FAX 03-6806-6219

メール連絡先:boc@bocinfo.net

ホームページ:www.bocinfo.net

*このメールニュースの内容及びコンテンツはBOC(Holdings)Ltdに帰属します。

*弊社の許可なしに転送することを禁じます。